

平成 25 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	多文化共生センターひょうご
活動テーマ	在住外国人向け「家庭・地域でできるファーストエイド」ハンドブックの作成・講習会



日本で生活する外国人にとって、生活上不安に感じることで、急病などの場合の対応があげられる。しかし、個別に救急対応を学ぶことは、ことばの問題もあり難しい。そこで、多くの人が集まるイベントの場で多言語講習を実施することで、外国人住民への情報提供ができ、また日本人住民にも多言語での情報が必要とする外国人の存在をアピールできると考えた。

地域の多文化共生イベントである「多文化フェスティバル深江」の一企画として、多言語による救急講習を実施し、より多くの人に情報提供できる場とした。講師は、東灘区消防本部救急隊に依頼し、協議の上家庭内や身近な場所での救急場面を想定した内容とした。また、多言語（英語、中国語、スペイン語、タガログ語）による同時通訳を行い外国人住民にもその場で理解できるように工夫した。会場には外国人だけでなく、日本人も多数参加しており、救急時にことばがわからないことの不安や、具体的に身近な外国人に不測の事態が起こったときに、どのように対応すればよいかというイメージを共有することができた。

